



平成30年12月19日

<タイトル> 真野小学校6年生が「命の授業」を行ないます。

体育（保健領域）の授業において、外部講師を招き胸骨圧迫やAEDの使用について、技能を身に付けるとともに、命を救うために自分たちにもできることがあることを理解するため、次のとおり「命の授業」を行います。

【日 時】 平成30年12月20日（木）
2校時 午前9時25分から10時10分まで

【場 所】 真野小学校 体育館

【講 師】 本間 孝則 様ほか数名
※ 新潟 PUSH プロジェクトから派遣される講師

【参加者】 真野小学校6年生児童（梅組21名、松組21名、計42名）
真野小学校教職員（若干名）

【参 考】

<新潟 PUSH プロジェクトについて>

地域、学校、職域など多くの人に「胸を PUSH(胸骨圧迫)」「AED のボタンを PUSH」「あなた自身を PUSH」の3つの PUSH を通じて、心肺蘇生の大切さと、皆さん自身の果たす役割の大切さを伝えている団体です。

PUSH プロジェクトでは、「少しの知識と一歩前に出る勇気があれば、命を助けることができるのだ」というコンセプトで、胸骨圧迫（心臓マッサージ）と AED（自動体外式除細動器）による簡易な心肺蘇生の普及を通じて、突然倒れた人を救命できる地域づくりを目指しています。また、学校における心肺蘇生教育の実施を促し「いのちを大切にすところ」を育てるとともに、学校心臓突然死ゼロを目指して教育現場での子供達のいのちを守る取り組みを支援しています。

本件についての問合せ先

佐渡市立真野小学校 教頭 平野 徹

電話 0259-55-2009